【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【公開番号】特開2008-5256(P2008-5256A)
【公開日】平成20年1月10日(2008.1.10)
【年通号数】公開・登録公報2008-001
【出願番号】特願2006-173248(P2006-173248)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　1/46　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/60　(2006.01)
Ｇ０６Ｔ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　1/46　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　1/40　Ｄ
Ｇ０６Ｔ　1/00　５１０

【手続補正書】
【提出日】平成21年6月23日(2009.6.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
カラーの原画像データを印刷に使用する複数の色材色に対応する色材色画像データに変換してプリンタに出力し印刷させる画像処理装置であって、
ユーザーにより複数種類の内から選択された印刷に使用する用紙の種類を入力する用紙種入力手段と、
該用紙種入力手段により入力された用紙の種類に応じて、低濃度の色材を使用する前記変換とそれ以外の前記変換を選択的に行う色変換処理手段を有することを特徴とする画像処理装置。
【請求項２】
前記色変換処理手段は、前記変換を行うための複数のルックアップテーブルを準備し、該複数のルックアップテーブルの内で、前記用紙種入力手段により入力された用紙の種類に対応するルックアップテーブルを選択して用いて前記変換を行うことを特徴とする請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項３】
前記色変換処理手段は、マトリクス演算により前記色変換処理を行うことを特徴とする請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項４】
カラーの原画像データを印刷に使用する複数の色材色に対応する色材色画像データに変換してプリンタに出力し印刷させる画像処理装置の色変換方法であって、
ユーザーにより複数種類の内から選択された印刷に使用する用紙の種類を入力する用紙種入力工程と、
該用紙種入力工程で入力された用紙の種類に応じて、低濃度の色材を使用する前記変換とそれ以外の前記変換を選択的に行う色変換処理工程を実行することを特徴とする画像処理装置の色変換方法。
【請求項５】

前記色変換処理工程は、前記変換を行うための複数のルックアップテーブルを準備し、該複数のルックアップテーブルの内で、前記用紙種入力工程により入力された用紙の種類に対応するルックアップテーブルを選択して用いて前記変換を行うことを特徴とする請求項４に記載の画像処理装置の色変換方法。
【請求項６】
前記色変換処理工程は、マトリクス演算により前記色変換処理を行うことを特徴とする請求項４に記載の画像処理装置の色変換方法。
【請求項７】
カラーの原画像データを印刷に使用する複数の色材色に対応する色材色画像データに変換してプリンタに出力し印刷させる画像処理装置であって、
ユーザーにより複数種類の内から選択された印刷に使用する用紙の種類を入力する用紙種入力手段と、
該用紙種入力手段により入力された用紙の種類に応じて、色再現範囲を拡大することが可能な色材を使用する前記変換とそれ以外の前記変換を選択的に行う色変換処理手段を有することを特徴とする画像処理装置。
【請求項８】
前記色変換処理手段は、前記変換を行うための複数のルックアップテーブルを準備し、該複数のルックアップテーブルの内で、前記用紙種入力手段により入力された用紙の種類に対応するルックアップテーブルを選択して用いて前記変換を行うことを特徴とする請求項７に記載の画像処理装置。
【請求項９】
前記色変換処理手段は、マトリクス演算により前記色変換処理を行うことを特徴とする請求項７に記載の画像処理装置。
【請求項１０】
カラーの原画像データを印刷に使用する複数の色材色に対応する色材色画像データに変換してプリンタに出力し印刷させる画像処理装置の色変換方法であって、
ユーザーにより複数種類の内から選択された印刷に使用する用紙の種類を入力する用紙種入力工程と、
該用紙種入力工程で入力された用紙の種類に応じて、色再現範囲を拡大することが可能な色材を使用する前記変換とそれ以外の前記変換を選択的に行う色変換処理工程を実行することを特徴とする画像処理装置の色変換方法。
【請求項１１】
前記色変換処理工程は、前記変換を行うための複数のルックアップテーブルを準備し、該複数のルックアップテーブルの内で、前記用紙種入力工程により入力された用紙の種類に対応するルックアップテーブルを選択して用いて前記変換を行うことを特徴とする請求項１０に記載の画像処理装置の色変換方法。
【請求項１２】
前記色変換処理工程は、マトリクス演算により前記色変換処理を行うことを特徴とする請求項１０に記載の画像処理装置の色変換方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明は、カラーの原画像データを印刷に使用する複数の色材色に対応する色材色画像データに変換してプリンタに出力し印刷させる画像処理装置であって、
ユーザーにより複数種類の内から選択された印刷に使用する用紙の種類を入力する用紙種入力手段と、
該用紙種入力手段により入力された用紙の種類に応じて、低濃度の色材を使用する前記

変換とそれ以外の前記変換を選択的に行う色変換処理手段を有することを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
また、本発明は、カラーの原画像データを印刷に使用する複数の色材色に対応する色材色画像データに変換してプリンタに出力し印刷させる画像処理装置であって、
ユーザーにより複数種類の内から選択された印刷に使用する用紙の種類を入力する用紙種入力手段と、
該用紙種入力手段により入力された用紙の種類に応じて、色再現範囲を拡大することが可能な色材を使用する前記変換とそれ以外の前記変換を選択的に行う色変換処理手段を有することを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
本発明によれば、ユーザーにより複数種類の内から選択された印刷に使用する用紙の種類が入力され、入力された用紙の種類に応じて、原画像データが異なる複数の色材色に対応する色材色画像データに変換されて、プリンタに出力され印刷される。これにより、ユーザーが印刷に使用するものとして選択した用紙の種類に適した前記変換を選択的に行うことができ、カラー印刷をその印刷に使用される用紙の種類に応じて適切に行うことができる。